



坂東地域アグリ通信

令和4年10月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

第4回 坂東地域アグリセミナー「土づくり講座」を開催しました。

9月30日に坂東地域アグリセミナー「土づくり講座」を開催し、20名が受講しました。普及センターから(1)土壌について、(2)肥料・堆肥について、(3)土壌診断についての3つのテーマで講義を行い、土壌の種類や役割、家畜ふん堆肥の特徴、土壌診断結果の見方等を説明しました。本講義を通じて、良い土づくりのためには土壌や肥料の特徴をよく知り、定期的な土壌診断を行いその結果を基にした適切な土壌改良が重要なことを受講生に理解していただくことができました。受講生から質問が多く上がり、土壌や肥料に対する関心の高さがうかがえました。普及センターでは、今後もアグリセミナーを通して新規就農者を支援していきます。



講義の様子

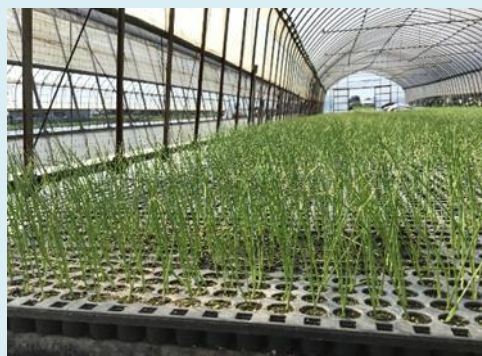
タマネギの育苗巡回を行いました。

9月28日、JA茨城むつみ、全農いばらきと共同でタマネギの育苗巡回を行いました。今回の育苗巡回では、9月上旬に播種した苗の生育状況を確認しました。

育苗初期の天候不順によりかん水やハウスの温度管理に苦労する様子も見受けられましたが、全体的には、生育はおおむね良好でした。

普及センターからは、育苗中の病害の防除や定植に向けたほ場の準備についての情報を提供しました。生産者からは育苗の管理や、剪葉（育苗中の葉切り）、追肥の時期についての質問があり、活発な情報交換が行われました。

普及センターでは、関係機関と協力してタマネギ導入による経営の安定化を支援していきます。



境町、坂東市岩井地区のレタスが銘柄産地に再指定されました。



境町



坂東市岩井地区

筑西合同庁舎にて、8月22日に境町、8月30日に坂東市岩井地区のレタスの銘柄産地指定を更新されました。出荷組織は、境町ではJA茨城むつみ境地区野菜生産部会、坂東市岩井地区ではJA岩井園芸部です。初の指定は、境町は昭和59年、岩井地区では平成3年です。両産地ともに安定した出荷、品質の継続が評価され、再指定となりました。

本年の秋レタスは、台風等の大きな被害がなく、両産地とも作柄が良好で、再指定後初の作付けは幸先の良いスタートを切っています。今後も益々の発展が期待されます。

水田への高収益化作物導入の現地検討会が開催されました！

10月5日に五霞ふれあいセンターで、茨城県農業再生協議会と県西農林事務所の共同主催で、水田への高収益作物導入に係る現地検討会を開催しました。

普及センターからは、普及センターからは、取組事例として、五霞町の水稲生産者のかんしょへの転換と生分解性マルチを活用したかんしょ栽培について紹介しました。ほ場での現地紹介では、水田からの転換事例として、カンショとネギのほ場の見学と栽培概要の説明を行いました。質疑応答では、排水対策への質問が多く挙がり、水田からの作物転換における課題を生産者、関係者で共有することができました。

普及センターでは、今後も産地の振興・発展を目標に、地域の生産者の支援を行っていきます。



当日の現地検討会の様子

11月 土壌診断実施日のお知らせ

11月2日（水）、16日（水）、30（水）
の3回の予定です。

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

10月から気温が下がり過ごしやすくなってきました。私は少し早いですが、紅葉を見に出かけました。皆さんも、見ごろの時期に見に行ってみてはどうでしょう。これからは、気温もさらに下がりますので、体調管理には、十分お気を付けください。
(山本)